

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 10月号

（1）岩美南小学校が梨の栽培学習で収穫

岩美町立岩美南小学校3年生は9月18日、同校敷地内の梨園で「二十世紀」を収穫した。梨の栽培指導を行ったJ A鳥取いなば岩美支店の職員のほか、連携教育の一環で県立岩美高校の生徒も参加し、収穫の喜びを分かち合った。同J A職員は、食農教育の一環で栽培指導し、地域の農家も病害虫防除や剪定などでサポートしていた。



（2）女性会福部支部がミニデイサービス実施

J A鳥取いなば女性会福部支部は9月27日、福部町社会福祉協議会が運営する「ふれあいサロン」と協力し、ミニデイサービスを開いた。地域貢献活動の一環で行っており、今年で3回目となった。福部町にある砂丘温泉ふれあい会館で、8人のサロン利用者とゲームをし、女性会員手作りの昼食を食べて交流した。



（3）子ども農業教室で「星空舞」を稲刈り

J A鳥取いなばは10月5日、第5回子ども農業教室を鳥取市で開き、鳥取県オリジナルブランド米「星空舞」の稲刈り体験を行った。食農教育の一環で行い、同J A新規採用職員も参加した。子どもたちは、鎌の使い方や稲刈りの注意点を教わり、保護者やJ A職員のサポートを受けて稲刈りを楽しみ、知識を深めた。



（4）女性大学ルシールでそば打ち体験

J A鳥取いなばは9月19日、女性大学「ルシール」第3回講座を鳥取市鹿野町で開いた。鹿野町にある鹿野そば道場で、同町産のそば粉を使ったそば打ち体験をしたほか、城下町の風情が残る町内を散策。同町の名物で地産地消と歴史を学んだ。



(5) 白ネギほ場巡回

J A鳥取いなば郡家支店白ねぎ生産部は9月30日、白ねぎ巡回指導会を八頭町で開いた。白ねぎのほ場を巡回して生育状況を確認し、病害虫防除や排水対策などを指導。生産者6人が参加し、同J A営農指導員にアドバイスを受けた。

